

ふかめる

分 かり と 快 感 !

Z会ナビ

算数

理科

社会

お題

木に穴を開けた犯人は？

おうちで楽しく！
プログラミング通信講座、
Z会にて開講中！



Z会 KOOV 検索

海岸に落ちている流木に、写真の
ように穴が開いていました。



この穴を開けたのは、一体何者でし
ょうか。

近所の海岸を歩いていたときに、打ち上げられて
いる流木を見つけました。その流木をよく見
てみると、写真のような直径5ミリのほどの小さ
な穴がいくつも開いていました。ドリルで開けた
ようなきれいな穴です。でも、海岸で流木にド
リルで穴を開けた人があるとは思えません。き
っと人以外の生き物の仕業でしょう。どんな生き物
なのでしょう。

流木の旅

この流木が海岸に流れ着くまでに起こった出
来事を考えてみましょう。

マングローブなどの一部の種類を除き、木は海
ではなく、陸に生えています。その木がたおれて、
大雨などによって川を流れ、海に流れ着きます。
木が海をただよっていると、ある生き物がやって
きます。フナクイムシという貝の仲間です。貝と
いうと、アサリのように砂の中にもぐったり、カ
キのように岩にくっついていたりして生活してい
る姿を思い浮かべられるかもしれませんが、生まれ
たばかりのときは実はプランクトンとして生活し、
海の中をただよっています。そんな小さな貝の赤
ちゃんが、流れてきた木に出会うと、プランク
トンとしての生活をやめ、その木にくっついて生
活をはじめます。そして、その木を食べ進みなが
ら成長し、木に穴が開いていくのです。写真の木
に穴を開けたのは、フナクイムシという貝の仲間
でした。

こうして穴の中にフナクイムシがすんでいる
状態の流木が、ある波の強い日に海岸に打ち上
がります。台風の日だったのかもしれませんが。海
の中にすむフナクイムシは、流木が陸上に打ち上
がってしまうと生きていくことができません。そ
うしてフナクイムシが死んで、流木に穴だけが
残ったというわけです。海岸に転がっている小さ
な流木にもいろいろな出来事があったのです。



イラスト・瑞木匠

まさか写真をとられて新聞で取り上げられるなん
てことは、思ってもいなかったことでしょう。

フナクイムシの役割

海にすんでいるのに、陸から流れてくる流木
をたよりに生きているフナクイムシは変わった生
き物だな、と思いますが、自然の中では重要な
役割を果たしています。

海岸に打ち上げられる流木は、海に流れてく
る木のごく一部です。海に流れた木の多くは、海
底にしずみずみます。そこにフナクイムシのような、
流れ着いた木を食べる生き物がいないと、海底
にどんどん木がたまっていってしまいますね。フ
ナクイムシはそうした木を食べ分解すること
で、さまざまな海の生き物に栄養をあたえている
のです。しかもその分解のスピードはとて速く、
陸上だと10年も20年もかかって分解されるよ
うな木が、海だとほんの数日でなくなっていきま
す。たまたま海岸に打ち上がるのがなかったら、簡
題の写真のような小さな流木なんて、すぐにな
くなってしまったことでしょう。

木を食べる生き物

フナクイムシのように木を食べる生き物と言わ
れて思いつく生き物はいるのでしょうか。

カミキリムシの幼虫や、クワガタの幼虫など、
木を食べる生き物はたくさんいますが、まず思
いつくのはシロアリでしょうか。

シロアリは、名前に「アリ」とついてはいます
が、アリよりもむしろゴキブリに近い仲間です。

家の柱などに使われている木を食べて、家をこ
わしてしまうこともある、人間にとっては困りも
の生き物です。

家の柱を食べてしまうと困りものなのですが、
シロアリの本来のすみかは、森の中です。森の中
でかた木を見つけると、その中を集団で食べ
進み、穴だらけにして分解していきます。海の中
で木を食べ分解するフナクイムシと同じです
ね。シロアリがいなければ、森の中はかた木が
いつまでもなくなり、どんどん積み重なってし
まうのです。

陸上ではシロアリが、海の中ではフナクイ
ムシが、かた木を分解してくれるから、森や海が
かた木でうめつくされることがないのです。

今度、海岸で流木を見つけたら、よく観察し
てみてください。きっとすぐに、穴の開いた流
木を見つかることができると思います。そんな
流木を見かけたら、その流木がたどってきた道
や、かつてその穴の中に住んでいた貝のことを想
像してみると面白いですよ。(Z会・鳥越賢)

今回の教訓

ふだん目にとまらない
ところで、ひっそりと役
に立っている生き物はた
くさんいます。



鳥越賢さん 2010年Z会入
社。小学生向けの理科の教
材編集を担当。生き物が
大好きで、生き物の写真投稿サ
イト「日本まるごと生き物図
鑑」を運営。